

# 南越農林だより

## 夢の実現に向けて、がんばってます。

### 自分にあった近代的な農業を目指して

私は農業高校でバイオテクを中心に勉強し、その後、タキイ種苗研修所で先進的な栽培管理技術、特に野菜と花きの交配管理や耐病抵抗性について勉強してきました。平成15年4月に家業の野菜・花苗生産を継ぐため就農し、今年で3年目になります。「田舎には田舎のやり方がある」と思っていますが、これからは自分にあった近代的な農業を目指して頑張りたいと考えています。

武生市鴉ヶ平 柴田勝美(21才)



### 家族とともに

武生市白山で、60万鉢以上の野菜苗生産に取り組んでいます。これから栽培技術と経営手法を積極的に学び、できるだけ早く、父に追いつきたいと思っています。今年から弟も就農しましたので、1日も早く仕事を任せられるよう、効率良く仕事ができる環境づくりに努め、父を中心に家族一丸となって頑張ります。

武生市鴉ヶ平 水野国宏(左 26才) 政樹(右 22才)



## 四季を彩る餅料理を、どうぞ召し上がれ

平成15年秋に、池田町稲荷に誕生した「お餅の母屋」<sup>ままや</sup>は、餅の伝承料理から現代風の創作料理まで、一年中お餅を堪能できる農家レストランです。

その母屋を運営するのは、池田町をこよなく愛する二人の女性、山口典子さんと山内明美さんです。古くから町内に伝わる「餅文化」が、次第に薄れつつあることに日頃から危機感を覚えていた二人は、勤めていた仕事を辞めた後、一念発起して店を建ててしまいました。伝統的な餅文化を守りつつも、新しい餅料理の創造と提案を行い、多くの方々に、餅を通して池田町の四季を体感して欲しいそうです。

餅は女性や子供の肌にも例えられるように、きめの細かさ、そして粘り具合などに大変優れた食材です。その特性がまさしく、母屋のコンセプトになっています。

今後ともねばり強く次世代に餅文化を継承していってくれることを願っています。

〔お餅の母屋 池田町稲荷 TEL.0778-44-8338〕



平成17年5月20日

NO.16

### 南越農林総合事務所

武生市上太田町41-5 TEL(0778) 23-4545

URL <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

E-mail [nan-noso@pref.fukui.lg.jp](mailto:nan-noso@pref.fukui.lg.jp)

## 県産材利用への新たな取組み

県産材利用拡大をより一層図るため、県庁においては今までの「森づくり課」を2つに分けました。新たに『県産材活用課』が設置され、県産材を使用した住宅建設の仕組みづくりや住宅部材の開発など、「木を伐って使う流れ」を強化しながら、林業・木材産業・山村の活性化の推進を図るため、新たな取組みとして、平成17年度から開設する事業について照会します。

(1) 間伐の推進と間伐材の利用について

・間伐促進緊急特別対策事業

国庫補助の対象とならない、間伐が遅れている高齢級の森林(31~45年生)の間伐の実施を支援します。

(2) 住宅における県産材の利用について

・ふくい森とつながる家づくり推進事業

森づくり隊(伐採従事者)、木材生産者、住宅建築会社等が協定を結び、産地証明された県産材を使用した住宅を県民に提供する体制を構築していきます。



## 人と環境に優しい木造校舎



『南越養護学校』が開校しました!!

武生市上大坪町に建設された南越養護学校が4月1日に開校し、子ども達の声が響きわたりました。県産スギ材をふんだんに使用しており、木材の伐採や葉枯し乾燥、製材など建築着工の一年前から計画的に準備を進め、教育・建築・林業の各分野の専門家が綿密な打合せを何回も行い完成にいたしました。今後も南越養護学校のように人と環境に優しい木造施設の整備を広く進めていきます。



## ❀ 第47回福井県緑化大会 ❀

～ 緑を増やして 防ごう温暖化 守ろう地球 ～

森林・林業の大切さと緑の素晴らしさを実感できる、県民の皆様の参加による「森林とのふれあい森づくり活動」を実施します。  
ぜひご参加ください。

❀ 日 時 平成17年5月29日(日) 9:00～

❀ 会 場 式典・植樹 あわら市北潟 北潟湖畔公園(雨天時:北潟公民館)

❀ 内 容

9:00～

森づくり作業(スギ・ヒノキ林除間伐)  
式典  
植栽作業(広葉樹植栽)  
木材利用体験(間伐材のチップ製造・敷設作業間伐材ベンチ作業)

12:00～

体験コーナー(ネイチャークラフト・木工クラフト・チェーンソーアート等)  
展示コーナー(木製品・緑化ポスター・緑化標語等)  
販売コーナー(きのこ・炭・木工品・苗木等)  
食物コーナー(大鍋豚汁(無料配布500人分)・そば・弁当等)  
その他(緑化相談コーナー・湖畔サイクリング・ボート・カヌー等)

夢かなう 育む清水 ダム湖に満つ

# 柘谷ダム試験湛水



(つるし柿の里)

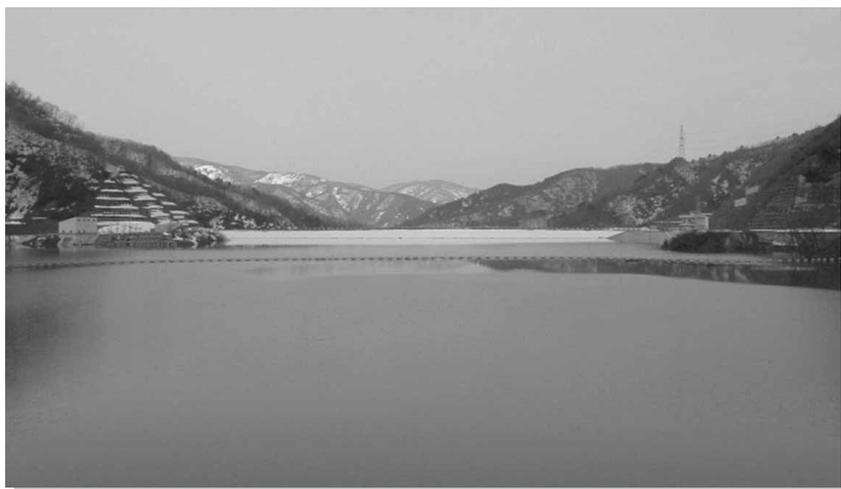
農林水産省(日野川用水農業水利事業所)が進めています日野川流域資源総合開発事業(日野川用水地区)は、日野川の兩岸にまたがる地域の用水不足を改善するために、柘谷ダムの築造による水源確保を行うとともに、八乙女頭首工および幹線用水路の整備による農業用水の安定供給を図っています。

このたび、柘谷ダムが完成し試験湛水が行われていますが、試験湛水は平成17年3月31日

午後8時05分に標高338.5mのサーチャージ水位(洪水調節水位)に達しました。

この試験湛水作業は、この後ダムの水位を下げ、6月上旬には空にする計画でダム本体および貯水池内の観測・巡視等を行い、ダムの安全を確認しています。

柘谷ダムで生み出された水は、一度一級河川日野川を流れ、八乙女頭首工および松ヶ鼻頭首工で取水し日野川受益約5,600haの穀倉地帯へと送水されます。



満々と水をたたえた柘谷ダム



満水で洪水吐より溢れる水  
(100年に1度の確立で越流)

南越農林総合事務所が実施しています下流域のパイプライン工事についても、幹線工事は完了し、付帯する工事についても国営事業完了とあわせ、平成18年4月の供用開始に向けて全力で取り組んでいるところです。

昭和48年の異常渇水を契機に、昭和56年より日野川流域資源総合開発の大プロジェクト事業にのりだし、ようやく完成を迎えようとしています。

満々と水をたたえ悠々とたたずんだ姿にただ目を奪われます。来年4月には供用開始のためダム水が再び満水になります。その時は是非、柘谷へ足をお運び下さい。



# 環境にやさしい農業に取り組みませんか

スーパーなどの野菜売り場で、このようなシールの貼ってある農産物を見たことがありますか？  
このシールは、環境にやさしい農業でつくられた農産物であることを証明するもので、消費者の方々にPRする際には、大変便利です。

## エコファーマーとは

農業が持つ自然循環機能を生かし、将来にわたって持続的に農業生産を行うため、堆肥などによる土づくりと化学肥料・化学合成農薬の低減を一体的に行う農業生産方式を実践する農業者のことです。



これら3つの技術のうちから、それぞれ1つ以上の技術を組み合わせ、5年後の目標として栽培品目ごとの実施率を5割以上とした導入計画を作成し、知事の認定を受けます。

1品目だけでも、申請することができます。

南越管内では現在、野菜で29名、水稲で1法人と個人4名が認定されています。

## 福井県特別栽培農産物は

福井県では平成13年度から、有機農産物(いわゆる有機JAS認定農産物)以外の、化学合成農薬と化学肥料の使用を極力抑えた(福井県慣行栽培の5割以上削減)農産物について、認証を行なっています。



収穫した農産物に「認証マーク」と「栽培管理表(農薬等使用資材の使用状況を表示したもの)」を添付して出荷します。

今年2回目の申請となる対象作物等は、麦、そば、秋冬野菜、精米、小分けで、申請期間は6月1日～6月31日となっています。

申請方法、申請書様式につきましては、農業経営支援部の地域農業振興課または、担当普及指導員にお問い合わせください。また、制度の内容等の確認、申請様式のダウンロードについては、福井県食の安全安心課のホームページでもご覧になれます。

福井県ホームページアドレス <http://info.pref.fukui.jp>

(お問い合わせは、地域農業振興課 岸本まで)

## 水稲育苗ハウスを利用して、園芸栽培にチャレンジしてみませんか。

今、地産地消が大きなブームになっています。特に量販店からは、「鮮度を重視する軟弱野菜の生産をもっと増やして欲しい」といった強い要望があります。

このため、ホウレンソウやコマツナなど軟弱野菜を中心に、栽培から出荷の方法までの研修会を開催します。お気軽にご来場ください。個別の相談も対応します。



対象: 出荷意向のある方(家庭菜園は除く)

日時: 平成17年6月10日(金) 10時～12時

場所: 南越農林総合事務所 農業技術研修館2階

申し込み: 準備の都合がありますので、6月5日までに担当にお知らせ下さい。

(お問い合わせは、経営支援グループ 福田まで)



## 農林総合事務所のホームページと相互リンクしませんか



南越農林総合事務所ホームページ(以下、HP)では、より多くの方々に閲覧・ご利用いただけるよう、コンテンツの充実と更新に努めています。

今回はその取組みの一環として、みなさまのHPと当事務所HPとの相互リンクを募集します。これを機会に、HPを通じて南越管内の魅力をPRしつつ、お互いに更なるアクセスアップを目指しませんか。積極的なご応募をお待ちしております。

メールでの応募期間は、6月末日まで。件名を「HP相互リンク希望について」とし、必ず、URLを本文中に記載してください。

なお、公序良俗に反していないことを条件に、リンクさせていただきます。

eメールアドレス [nan-noso@pref.fukui.lg.jp](mailto:nan-noso@pref.fukui.lg.jp)

南越農林総合事務所HP <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

お問い合わせは、地域農業振興課 池上まで

## 『お米にまつわる伝承料理レシピ集～コメこめ七変化』を発行しました！

このほど、農業経営支援部と南越ふるさと活性化協議会が共同で、古くから伝わる米料理の紹介と新たな米料理の可能性を提案することを目的に、レシピ集を発行しました。

ご希望の方にお渡ししますので、直接、農業経営支援部までお越し下さい。

(担当:榎本、田畔)



## 「地域農業支援員」が皆様をサポートします。

平成17年度から、「地産地消」に関する技術指導や「安全・安心な農産物」の生産に関する指導をしていただく「地域農業支援員」制度が始まります。

これは、農業経営支援部が窓口となり、販売を目的とした農業者の皆様からの要請に対し、適任の支援員を現地に派遣するものです。

南越管内の支援員の皆さんは全部で10名。指導経験も豊富で、やさしく丁寧に教えていただける方々ばかりです。栽培講習会など、お気軽にご活用下さい。

## 豊かな食育活動を～食育ボランティアについて～

県では、家庭・地域・学校が連携して食や農の体験を通じて、豊かな心と健康な体を育むことにより、全国に誇れる「健康長寿」に寄与するため、県民の食育活動を進めています。

そのため、学校や地域で、食育活動にボランティアとして協力・支援していただける方を「ふくい食育ボランティア」として登録しており、現在、南越管内では、個人で61名、企業・グループで30団体の方々が登録されています。

ボランティアの方々の名簿は、市町村農政関係課、市町村教育委員会、小・中学校、高校・幼稚園・保育所、公民館等の公的機関または農業経営支援部にありますので、お問い合わせください。(担当:岸本)

# 南越農林総合事務所の「農業普及部」が 「農業経営支援部」に変わりました。

本県農業の活性化と農業普及事業の重点化・効率化を図るため、平成17年度の機構改革により、技術経営支援課と地域農業振興課になりました。

## 《技術経営支援課》

地域の認定農業者や新規就農者の方々に対して、収益性の高い品種の栽培や新たな生産技術の導入を支援します。

### 経営支援グループ

認定農業者、農業法人等意欲的な農業者の経営支援  
新規就農者等、地域農業を担う人材の確保・育成  
女性・熟年農業者の能力活用支援など

### 産地育成グループ

売れる米づくり産地の育成支援  
新規園芸産地の育成支援など

## 農業経営支援部

技術経営支援課



嶋田課長(野菜)

経営支援グループ



冬廣主任(果樹・作物)



福田主任(野菜)



佐藤企画主査(畜産)



倉田企画主査(作物)



榎本企画主査(生活)



竹内技師(作物)



菅江技師(野菜・作物)

産地育成グループ



田中英主任(野菜)



高木主任(野菜)



田中利主任(作物)



古澤企画主査(野菜・果樹・花き)



瀬野技師(野菜)



山田技師(野菜)

## 林業普及職員転入者

### 林業部



林技師

### 県税からのお知らせ

## 自動車税の納期限は5月31日(火)です!

ご自宅に郵送された納税通知書(はがき)にて、お近くの金融機関、郵便局、または南越県税事務所の窓口で納付してください。

南越県税事務所では、  
休日・夜間窓口を開いたします。

【休日】 5月29日(日) 午前10時～午後7時

【夜間】 30日(月)、31日(火) 午後8時まで

詳しくは、福井県南越県税事務所までお問い合わせください。  
武生市上太田町41-5(ショッピングセンターシビイ南隣 南越合同庁舎1階)  
TEL 0778-23-4545(代表)  
0778-23-4529(休日・夜間)